

第1次滝沢市総合計画

後期基本計画の展開戦略

「若者定住」に向けた 政策提言書提出

第1次滝沢市総合計画は平成27年度に策定され、令和4年度で計画の最終年度を迎えます。

滝沢市議会では、総合計画後期基本計画における展開戦略の一つである若者定住に着目し、総務教育・環境厚生・産業建設の各常任委員会共通の調査テーマに据え、「何が課題で、何が必要なのか」議会独自の視点から調査活動に取り組んできました。

市内の各関係団体との懇談会等も開催し、市民の皆様の意見や要望等も広く確認しながら課題解決に向けた検討を進めてきました。今般、その調査結果を政策提言としてまとめ、3月30日に提言書を市長に提出しました。



- **『提言内容』若者定住に向けて**
 1. 「滝沢を知り、愛着を持つてもう」ための機会創出を図ること
 2. 保育環境の充実を図ること
 3. 生活基盤と産業基盤を整備すること
- 若者が定住できる受け皿を確保するため、これらの事業を部局横断的に展開する「若者定住課(仮称)」を設置すること

第2次 滝沢市総合計画 調査特別委員会

第2次滝沢市総合計画の制定に向け必要な事項を調査するための特別委員会を新たに設置しました。

- 【委員会名】 第2次滝沢市総合計画調査特別委員会
- 【設置期間】 4年3月18日から調査終了まで
- 【構成議員】 委員長▼藤原治
副委員長▼稻荷場裕
委員▼全議員

滝沢市観光協会^(※)と 市民懇談会

産業建設常任委員会では現在「観光、物産振興とふるさと納税の有利性について」と題し、市のふるさと納税に関する調査を行っています。この調査の一環で市からふるさと納税の業務を受託している滝沢市観光協会^(※)からふるさと納税の事務に関する話を伺うために市民懇談会を開催しました。

懇談会の中では、ふるさと納税業務の一連の流れや返礼品掲載サイトの状況、返礼品と納税額の設定に係る制度等について話を伺いました。また、観光協会からは4年度からの返礼品提供者との間の手数料の見直しについても話があり、4年度以降のふるさと納税の更なる活発化が期待されます。

^(※)現一般社団法人 滝沢市観光物産協会



テーマ「ふるさと納税に係る事務について」

- 開催日時 3月24日(木) 10時から
- 参加者 滝沢市観光協会^(※) 4名
産業建設常任委員会6名